



学校だより

9月号(第04-06号)

令和4年9月30日

横浜市立高田中学校

校長 横田 由美子

TEL : 591 - 4183

朝晩、秋が急に姿を現してきたかのようです。彼岸花の色も鮮やかです。彼岸花の別名は曼珠沙華（マンジュシャゲ）。釈迦が法華経を説いた際に、天から舞い降りた「天上の花」の1つが曼珠沙華だとされているそうです。赤い花のイメージが強いですが、白や黄色、ピンク、オレンジなどの品種もあります。



3年ぶりの合唱コンクールを控え、各クラスで、どんな高田祭にしたいか、どう頑張りたいかを考えて準備に取り組んでいます。部活動でも新たな体制で秋の新人戦に力いっぱい取り組んでいます。子どもたちのやる気やワクワク感が伝わってくる秋です。

中学生として勉強や進路、人間関係、健康上の悩みや上手く説明のつかない不安などを抱えている生徒は少なくないですし、がんばろう！と言われることがつらい時もあるでしょう。周囲が盛り上がっている取組にどうしても一生懸命になれない気持ちの子どももいるかもしれません。世の中自分の思った通りにばかりならないことは多くあります。そういう時も、小さな調整を自分の中で重ねながら、想像力を発揮しながら、互いを大切にする気持ちを持ちながら、学校でこそ、今だからこそできる体験を重ねて社会で幸せに生ていくための力や経験値を高めていって欲しいと思います。

新型コロナウイルス感染症の感染状況は減少傾向が続いていますが、まだまだ油断できません。基本的な感染防止対策を徹底しながら、皆で落ち着いた秋を満喫できることを願っています。

【少しずつ日常へ】

- 3年ぶりの合唱コンクール（10月20日（木））に向かって学校のあちらこちらで密にならないように配慮しながらパート練習が進んでいます。歌声が響き渡る学校に胸が躍ります。文化の部（10月21日（金））でのさまざまな学びの発表や展示も楽しみです。また、5・6組では調理実習に取り組み、美味しいハンバーグが出来上がりました。3年ぶりの土曜参観（10月1日（土））もあります。限られた時間でのローテーション参観で保護者の皆様にご理解・ご協力をいただいての実施ですが、ようやく学校内にお越しいただきお子様の様子をご覧いただけるようになったことを嬉しく思っています。



➤ 生徒会本部企画によるあいさつ運動も行なわれました。

高田中学校に来られる方に、「たか中の生徒たちはあいさつが本当に気持ちいいですね」というお言葉をよくいただきます。

今回の朝あいさつ運動では、挨拶をしてくれた人にカード（世界の挨拶をかいたもの）を配布。9月29日（木）の昼にカードを持って体育館に集合してカードを使ったゲームを行うという企画です。楽しく工夫しているなあと感心しました。

まさにこれまでのご家庭や小学校などでの教育や個人個人の自覚の賜物そのものです。気持ちの良い挨拶ができることは今後の人生にとっても大きな財産です。大切にしていって欲しいです。



【社会とつながる学び～官民連携での学びの継続と模索】

➤ 高田中学校では、年間を通して、様々な学校外の皆様にもご支援をいただきながら学びを進めています。

- ・5・6組では、夏休み前に、JAL特例子会社職場見学を行いました。
- ・東洋水産様との2年生の「マルちゃんとオリジナルカップ麺をつくろう」授業では、各クラスで一人ひとり自慢のオリジナルカップ麺の発表が進んでいます。第3期生としてどんな新商品が開発されるか？楽しみです。

1年生の「マルちゃんとオリジナルカップ麺をつくろう」授業初回（だしの秘密授業）も始まります。

- ・2年生3年生での技術科「プロに学ぶMesh/Microbit 미래の社会づくりプログラミング授業」でも継続して（株）ソフトバンク、（株）ICTコンサルタントさんにご支援いただいで学びを深めています。
- ・部活動ではパソコン部生徒が情報処理専門学校岩崎学園のサポーターと活動計画をたて、高田祭に向けたスクラッチプログラムなどの準備をすすめています。

2学期はキャリア教育の授業や新たな官民連携での学びも多く予定されています。多様な大人と触れながら毎日の学びを一層深めていってほしいと思っています。

【進化を続ける教職員】

- 「学校の先生は長い夏休みがあって羨ましい」は昭和の昔の話であることは既に広く知られていることと思います。授業研究に部活動の大会に日ごろ溢れてしまった業務の対応にと、今の教職員は本当に忙しいです。とは言え、もちろん我々も成長・進化をしていかなければなりません。夏には校内研修として、「デジタル・シティズンシップ」、「救命研修」、「個別最適な学び」、「デジタルドリル」について学び、ICT活用や外部資源活用、教科横断の学びについて各自が考えてみる時間を持ちました。教育委員会主催の様々な研修にも参加しました。
- R4 大人の社会見学（たか中職員研修）と銘打って、8月25日（木）希望者で綱島にある綱島 SST (Tsunashima サスティナブル・スマートタウン) に行き、パナソニック様、東京ガス様、慶応義塾大学など産官学連携した“イノベーション（革新）”をキーワードとした街について学びました。
- 9月21日（水）は横浜市港北区の教科研修で区内の教職員が教科毎に公開授業を参観し学びあいをしました。高田中学校では個別級授業と英語科の公開授業を行いました。
- 学びの場での ICT 活用も少しずつ進んできているように思います。頼もしいです。



【家庭・地域に支えられた学び】

PTA・地域の皆様に様々にご支援いただいています。

- 9月19日（月）～25日（日）に今年度2回目の「全保護者によるパトロール強化週間」を設定し、子どもたちの安全・安心のために見守りを実施くださいました。
- 花ボランティア活動の皆様の花壇花殿活動や、おやおやの会華道部の玄関生け花の手入れは、学校を憩いの空間にしてくださっています。
- 10月1日（土）はPTA主催のオンラインバザーです。土曜参観と合わせて、高田中学校で商品展示会を開き実際の商品を手にとって確認できるよう工夫くださいました。不要となった標準服やジャージなどが活かされていくことはSDGsの教育にもなります。
- 資源回収での資金は学校経営を継続して支えてくれています。
- 地域コーディネーターの皆様が秋テスト前の2日間放課後学習会を開催くださいました。参加者たちからは「落ち着いて学べた」「わからないところを友達と勉強しあえて良かった」の声が多数ありました。



- 2学期には地域の方のご支援を受けた授業もいくつか予定されています。家庭・地域からの支えはまだあります。本当にありがとうございます。
- 本年度、高田中学校は横浜市（横浜市教育委員会事務局学校支援・地域連携課）の企業委託形式放課後学習会事業に参加することになりました。
定期テスト前の図書館での放課後学習の場に加え、企業支援の学びの場を地域コーディネーターと模索します。詳細が決まり次第あらためてご案内させていただきます。

【その他】

- 安全安心な学びの環境（ハード面）
 - ・第二弾の外壁工事が無事完了しました。
 - ・高田中学校が誇るスーパー技能員さんたちにより高田中学校の廊下と職員室の床がぴかぴかになりました。
- 安全安心な学びの環境（ソフト面）
 - ・コロナ関係で学校に来られないが、症状もなく家庭からの参加が可能であったり、特別な事情があり、学校側でも教育的観点から家庭からの参加が当該生徒の学びに適切と考えられる生徒が自宅でも授業に参加できるように、当校でこれまで実施してきた「視聴型でのオンラインオフラインハイブリッド授業等」を「高中どこスタ」として実施して参ります。
(詳細は9月20日発信のCOCOOをご確認ください。)



～誰一人取り残さない学びの機会を～
横浜は「横浜どこでもスタディ」に取り組みます

高田中学校 校長 横田 由美子

～誰一人取り残さない学びの機会を～ 「横浜どこでもスタディ」(視聴・どこスタ)
『(たか中) 横浜どこでもスタディ』について

横浜市内では、コロナ不安やその他、様々な事情で学校に登校できない児童生徒が、自宅などで授業に参加できるように、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選べる取組を「横浜どこでもスタディ」(視聴・どこスタ)として、各学校で行うことになりました。

高田中学校では昨年頃からオンラインの授業配信や、GIGAスクール構想推進を2回連続しながら進めて参りましたが、これまでの取組を「(たか中) 横浜どこでもスタディ」(視聴・たか中どこスタ)として継続実施し実現します。

『(たか中) 横浜どこでもスタディ』(視聴・たか中どこスタ)

目的：①コロナ感染拡大防止 ②学びのつながり

対象：①物理的にコロナ関係で学校に来られないが、家庭からの参加が可能な生徒
②(体弱や病、学校への来づらさなど特別な事情があり)家庭からの希望があり学校側でも教育的観点から『(たか中) 横浜どこでもスタディ』(視聴・たか中どこスタ)参加が当該生徒の学びに適切と考えられる生徒

取組1 オンライン授業配信
オンライン授業配信は高田中学校が中心となって行われ、1学期4月からはオンラインによる授業配信の開始(実施)して『(たか中) 横浜どこでもスタディ』を開始しました。

取組2 配布資料のアップや課題の提出
授業などでプリント(Worksheetなど)で配布された資料や、プリントで提出された資料や課題は、生徒から回収することができ、同時に、デジタルで提出された課題は生徒から回収することもできます。タブレットでの配布、課題提出も行った授業に取り組めます。

取組3 デジタル学習教材の利用
適切なICTツール、デジタル教材、教材制作ツールなどを活用して授業を行うことができます。

取組4 保護者生徒とのICTを利用したつながり
～取組者：COCOO 一斉授業(配信、配信に応じ) Classroomなど

連絡先 副校長 長谷部正行

➤ メディア掲載

JMC 様支援員導入事例：『生徒がデジタル市民として、ICTを活用できるように。先生も生徒もチャレンジしやすい環境作りをサポート。』

<https://www.jmc-edu.co.jp/case/takata20220719/>

読売新聞(9月17日)夕刊：『「出題」「解答」「採点」「集計」…テスト ITで効率化 中高 教員が大幅時短』

<https://www.yomiuri.co.jp/.../news/20220917-0YT1T50146/>

*注：当記事確認には読者登録(無料)が必要です。

- 卒業式の日がR5年3月8日(水)に決まりましたのでご予約・ご承知おきください。